

林檎

岩手Mac友の会

Vol.5, No.3 1993.9.18

Iwate Macintosh Funclub

総会報告

一カ月遅れの総会が終わったと思ったら、あっという間に3カ月以上が経過してしまっていた。この会報の発行自体も遅れて発行するということになりました。遅れ馳せながら、総会に来られなかった方へ簡単な報告を致します。

まず、最初に触れなければならないのは、日本ハイパーカード・ユーザー・グループ (JHUG) の方々への感謝の言葉です。

なにしろ、全くのヴォランティア・ベースの応援参加でした。しかも、お土産まで頂いてしまうありさまで、感謝の言葉もありません。我々の方からは謝礼はおろか、交通費すらもお渡ししていないという情けない対応にもかかわらず、川村鴻真さん、掌田津耶乃さん、ひめたろうさん (あいうえお順) といった著名な方々が、我々のために講演をして頂いたのですから、これはもう感謝感激雨霰です。

立山さんはじめ、いらして頂いたJHUGの皆さんに、改めて感謝の言葉をおくります。

総会決議

さて、総会では次のことが決まりました。

会報の発行回数を減らす。年会費を500円減額し3,000円とする。初心者分科会は参加者が少ないため閉鎖する。例会の中で初心者の方の相談を受けられるようにする。

そして、役員は編集長の徳富さんが多忙のため辞任し、新編集長として高橋晃さんが後を引き継ぐ事になりました。他の役員は再任ということになりました。

会長：野村行憲
事務局長：佐々木幸司
編集長：高橋晃
副編集長：照井芳夫
(以上敬称略)
世話人 (兼編集委員)：
杉村栄一さんほか有志

なお、例会の会場は、7月から岩手大学教育学部の実践教育工学研修センターで開催しています。関係者の方々のご厚意に感謝致します。

JUGAC

日本でのユーザーグループ代表者会議 (JUGAC) がアップルコンピュータ社主催で9月25~26の両日、東京で開催されることになり、私とその参加者の末席を汚すことになりました。参加する代表者は、北海道、東北、関東、などの各地域から一人ずつの6名

とのことですから、光栄に思うと同時に責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いがします。(本当に身が引き締まれば嬉しいのですが)

これも一重に会員の皆様のご協力の賜物ですので、皆さんの意見をできるだけ代弁してくるつもりです。

日本のマック・ユーザとアップル社との、良好な関係作りの一助となれば幸いです。

この会議から帰ったら、その会議の様子などを皆さんに報告する機会を持ちたいと思っていますので、ご期待下さい。



Inside

私のMac Life	2
白石情報!	4
山の花	6
余慶なお世話	7
Future BASIC	8
林檎ギャラリー	10
編集後記	11
会員名簿	11
掲示板	12

私の Mac Life

by 土村 中

Mac沼という底無し沼・・・

私の頭の中にMacintoshという名前が入り込んできたのは今から6か月前、今年の、そう3月頃でしたね。それまでは、ポツポツとMS-DOSを、いじっていたのですが、どうも、私にあわなくてMacはどんなものなのかな？と考えていた矢先の5月に、ある会社の企画するマックのセミナーに参加したのですよ。それは、現役のデザイナーによる講演や実演もあり私のような「見て、聞いて、体で覚える」人間にはとても解りやすく、私にとってのMacの可能性を、それと私レベルでも仕事としても使えるかな？と思ったのが、きっかけでMac沼という底無し沼に足を踏み入れることとなったのです。

借金という名の地獄・・・

それから何日もしないうちに、どうしてもマシンが欲しくなってきました・・・、そこには大前提にお金という問題を抱えているにもかかわらず・・・！しかし、私は元来待つという事はあまり得意ではないので欲しいものがあれば借金をしてでも手に入れたと思うわけで、そのときすでに電話の受話器を手にとっていてだれかと話している私がいるのです。「もしも木津屋本店ですか・・・」注文しているんですね！借金という名の地獄が待っているにもかかわらず・・・。

待ちに待ったマシンが、
わが家へ・・・

待つ待つやっと届いたわが家の新メンバーは、「vi」と言う名前のもとても可愛い奴でした。その前に別の機種を頼んでいたのですが、それだといつはいるか解らないと言うので変更して、こいつに決めたのです。後々解ってくるのですが、こいつは、Macきっての鈍速のドンキーちゃんだったとは・・・、でも本当に可愛いですよ。いずれにせよ届いたその日から私の二人三脚が始まったわけです。一日が何時間あっても足りない日々が・・・。

短期集中型・・・

来たその日から仕事が終わると同時にMacをいじり始め、気がつくと窓の外は、明るくなっているという毎日を何日間か続けて付属の説明書等を全てマシンを動かしながら完了し、いくつかのソフトも動かしてみた。家族はあきれかかっている。が、私はただだらだらといじって覚えるタイプではなく、何をやるにしても短期集中型なので夜寝なくても覚えたいほうなのです。まあ、体と相談しながらですが・・・。

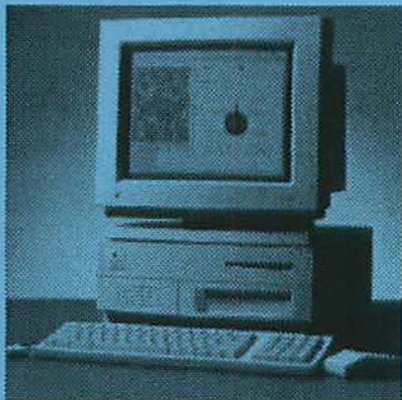
IMFという場・・・

IMFという集まりがあると聞いたので私も仲間になりたくて、それとMac

についてもっと深く知るには経験者からの話を聞くことが最短で覚えていく方法だと思い参加したのです。一歩足を踏み入れたときにみんな、危なそうな人に見えて（あまり深い意味はないのですが・・・）何も知らない私がここにいてもいいのだろうか？少々戸惑ったしだいでした。しかし、いくらもしないうちに雰囲気はわかってきて大丈夫だなと感じていたのです。

人との出会い・・・

それから何日かして、ある人と知り合うことになったのです。私には大助かりなのですが、その人には迷惑かも・・・？と、思いながらもその人のお言葉に甘えて昼となく、夜となく、とにかく分からなくなると電話をかけるか、部屋に行って質問をし、回答をもらうと言う様な日々を未だにおくっているのです。ちなみに、私の攻撃におつきあい願っている人とは、当会の遠山氏であります。なにせ、偶然にも非常に家も近いのでご迷惑をお掛けし



ている訳であります。この場をかりて、改めて「今後とも宜しくお願い致します。」

走れドンキー!

他のマシーンを、いじらないうちは、我がマシーンも実に快調に感じていたのですが、或とき、上位機種に、触れてしまったのですよ・・・何と!、こんなに速く画面が切り替わったり、スクロールがコマ送りではなく、実に、実になめらかに表示される同じMacと言う名前のマシーンでありながら、そうか、そのあたりが価格に現われているのかと言うことを身をもって実感したのです。しかし、私は完成度の高いものよりもイマイチなんだよなあ、と言うような(負け惜しみではなく)マシーンと付き合っていくのも楽しいのではないかな、と思っ

アクセラレーター登場・・・!

本屋で立読みをしていたら、その中に「vi にアクセラレーターを搭載して速いマシーンに」と言うような宣伝文句を目にして、そりゃ何だろうと思ひ、いつものように遠山さんにお聞きしたところ、スピードを上げる機械だということだったのでそれからは、本を見る度にアクセラレーターと言う文字を探し、いろいろと私なりに研究し、Mac In Talk では、偶然にも斎藤さんがアクセラレーターを購入したということがのっていたので、斎藤さんにも直接メールで質問して回答をもらったりして、たどりついた結論は、セントリス650へのアップグレードは、今、搭載しているメモリーが無駄になり更に改めて650用のメモリーを買わなければならない。金がかかる。次にアクセラレーターであるが、種類も結構出ているのでどれがどれやら一長一短あるようです。そこで私は、「安全でかつ速い!」そこを最重要ポイント



として選択を始めたのです。それでも訳のわからないエラーが、続発するときに、多々あるのですから・・・、そこで、インタウエアの、Booster30-50F に決めたのです。ちょうど自分の中で結論が出たときに北上の小松さんから「インタウエアからアップグレードの案内がきているよ。」と言う話があって即、その話に乗って申し込んだのです。

今、使っているよ〜ん!

偶然にもこの原稿を書いているときに運送屋さんがアクセラレーターを運んでくれました。もう原稿なんか書いている時ではない。早速、取り付けてスタートしてみたなら、「なんか変!」そこでインタウエアに電話を入れていろいろと指示を受けてそのとおりやってみた。結局、フォーマットまでし直してスタートしたけれど、やっぱり「なんか変!」もう一度インタウエアに電話を入れていろいろと説明をしたところ「送ってきたアクセラレータが不良品のようです。」という結論に達し即、交換することとなったのは良いのだが、フォーマットしてシステムがインストールできない状態で終

わっているので原稿も書けなくなってしまった。でも、メーカーとしての対応がよくて1日おいて、次の日には再びものが届いて、こんどは無事に起動してくれたのでホッ・・・!としました。それと同時にいろいろなソフトを動かして見たところ格段の早さの違いに驚き!大喜びしている私です。我が鈍速ドンキーちゃんも、胸を張って起動しているように見えるのが不思議です。

私のMacライフ

今回は、偶然にも私が原稿を書かせていただくこととなったわけですが、私のような、学生時代、作文の嫌いな人間が書いた文章なので読みにくいところがあったり、変な部分が多々あると思いますが、大目に見てください。ただ、私がMacを通じて新しい人間関係や楽しみを見つけ出していることを解っていただければと思います。それと、次回の特集のこの、「私のMacライフ」の原稿は、IMFの皆さんから寄せられることを希望しながら、今後も編集に携わっていきたく思っている私です・・・。



怒濤の

白石情報!

■LaserWriter8.0を覗いてみれば FAXだ

LaserWriter8.0を入手したので、私の趣味である日本語化をResEditでしてみました。今回のLaserWriter8.0はPostscript2.0に対応した初めてのドライバです。今回変わったところは、PageMakerなどでやっているPPDファイルを使用し、LaserWriter8.0で各社が出しているプリンタを各社のPPDファイルでの拡張部分などの細かい部分まで対応するようにしたことです。いままでより、グレイスケール、4色分解、Postscript2.0ファイルのバイナリ転送、Postscript図形の高速度化、2バイト圏とのROM統一などをやっています。ResEditでリソースを調べたところ、重大な発見をしました。LaserWriter8.0をFAXにも対応したことです。これから推測するとA3のポストスクリプト2.0にオプションでFAXモデムボードが付きの発売です。PICTやビットデータではなく、PostscriptでのFAXデータ転送です。これはアメリカだけでの発売の

NECのB4Postscript2のプリンタがもうハード対応をやっています。A3での発売は、現在B4プリンタがPostscript2プリンタをNECから、B4QuickDrawプリンタはCanonからのOEM発売しているところから窺えます。Appleの場合、世界統一機種の方が都合がいいはずですが、B4はA3プリンタに含まれますから、それからすれば、A3での発売になるはずですが、また現在のNEC製プリンタ用のプリンタドライバはGrayShareやFinePrintには対応していないところからA3プリンタの開発のための時間かせぎとの様相をていしています。皆さんに、APPLEのB4プリンタは、「嘘ませ犬」だと警告する白石でした。

■RoboFinderはスゴイ!!

先日、NiftyからダウンロードしたRoboFinder1.2はMAC上でDOSのバッチ処理のようなことをするためのユーティリティです。RoboFinder自体にはテキスト編集機能がないので、何かテキスト編集するプログラムでスクリプトを編集して使用します。スクリプトでの操作には次のようなものがあります。ファイルあるいはフォルダの検索、コピー、移動、名前の変更、ゴミ箱に捨て削除するなどです。ユーザの入力あるいは特定のアイテムが存在するか否かにより、処理の分岐、ループも行います。エイリアスを本当のファイルのように、あるいはエイリアスとしてそのまま扱うことができます。QuicKeysとの連携もできますので、QuicKeysが不得意なファイル絡みのところはRoboFinderで、あとのシーケンスについてはQuicKeysと分担して処理できます。初めて編集したテキストをRoboFinderで開いて処理し、終了しようとするRoboFinder用のファイルにするか聞いてきます。OKすると次からはRoboFinder用のファイルとして扱い始めます。そのため、システムフォルダの中の起動項目フォルダにそのファイルを入れて置くと、MACが立ち上がってからすぐ自動処理してくれるようになります。RoboFinderは、ファイル/フォルダ絡みで毎日しなければならぬような定型部分を自動処理してくれる我々MACユーザにとって初めての強い味

方のバッチ処理ユーティリティです。なおRoboFinderには日本語訳したファイルもついてきます。驚くことに、このユーティリティはPDSではなくフリーウェア(ただ)なのです。一度皆さん使用してみてください。AppleScriptもすごいRoboFinderもスゴイと感じている白石でした。

■再起動させずデスクリップ再構築 Tips

再起動させずデスクリップ再構築する方法がわかりました。

- 1.まず、option+Command+escキーを押す
- 2.そうすると強制終了のダイアログが出るので、強制終了ボタンをoption+Commandキーと一緒に押す
- 3.デスクトップの再構築。
Tips好きの白石でした。

■来年発売のPowerBookに486が

来年発売のPowerBookに486が付く噂があります。040かPowerPC他80486が付くようです。そうするとMacOSの他Windowsも動作するようになるはずですが、コピー、ペーストも両者でできるようになるはず。デスクトップマシン用にはNuBus仕様でOrangeMicroから486ボードが出ています。もちろんWindows3.1Jが動いています。どちらも動けば満足な白石でした。

■MacUser日本語版発売

11月ソフトバンクより、米国ジフデブス社発行の「MacUser」の日本語版が980円で発売になります。米国ジフデブス社からオンラインで記事が転送され、それを全てマックで翻訳、編集、校正、版下まで一貫してやる方針だそうです。週間の新聞MacWeekの記事も米国ジフデブス社なので、合わせて掲載されるようです。そうすると今、BNNで抄訳小冊子付のMacWeekとの関係はどうなるのでしょうか。またまた、謎が謎を生むMAC周辺の業界状況でした。PowerBook180を買ってはみたが、住友科学の爆発の影響で増設RAMがないため、使い物にならず、指を加えて置いているだけの白石でした。

■インクジェット用最適紙発見!!

ついにインクジェット用最適紙を発見しました。実は、この用紙は以前から東北P.Sの長土居さんのところで使用していたのですが、私は別な用紙を発見してそちら使っていました。比較してみたところ、長土居さんが使っている用紙のほうがより鮮明に印字できることを確認しました。この用紙の特徴は、ニジミが少なく6ポイントくらいの文字も鮮明に出力、用紙の裏でもキレイに印字することです。この用紙はリコー系の用紙会社で日本ビジネスサプライのものです。ですからほしい場合は、リコーにコピー用紙として頼めばいいわけです。ただし、リコーのコピー用紙は二種類あり、自社純正の用紙と日本ビジネスサプライの用紙がありますので、日本ビジネスサプライの用紙の方で頼んでください。ロット単位はA4で500枚です。500枚で単価は865円くらいです。ですから1枚1.70円くらいになります。パソコン雑誌に載っているクルミ洋半紙よりももちろんすぐれた用紙であることを、出力実験をして私は確認しています。最適インクジェット用紙を発見した白石でした。

■Mac OS Vs WindowsOs No1

Windowsについて意外と知られていない欠点について報告します。まず

- 1.Windows3.1では漢字TALK7.1でいう32ビットクリーンにはまだなっていません。32ビットクリーンになるのはWindowsNTにならないとできません。ということは、Windows3.1で動作しているアプリケーションは全てWindowsNTになると動作できなくなるということです。そこでMicrosoftお得意のバージョンアップになるのです。ここでまたMicrosoftは儲けるわけです。
- 2.Windowsではマックのように30数文字までのファイル名を付けられるわけですが内部ファイル名はDOSのやり方の8文字+拡張子3文字で扱っているのが問題です。2つのファイル名が付いているということです。また、マックでいうTYPE,CREATORなどが標準化していないため、ファイルがどのアプリケーションによって作られている

のか、どのような種類(SYLK,1-2-3ファイルなど)のファイルかわかりません。そのためWindows版EXCELではオープンダイアログのファイルの種類をSYLKなどと指定しても指定したファイルだけの表示はできません。時によって、オープンダイアログにファイル名が8文字+拡張子3文字で表示されたり、30数文字でされたりするため、混乱してしまう。

- 3.ファイルの表示の仕方はWindowsでは色々ところで漢字TALK7.1の名前表示はできますが、アイコン、小アイコン表示ができません。
 - 4.今の所AppleScriptのようなパッチ処理はWindowsでは考えられていません。ということではできません。
 - 5.マックの場合のAppleTalkのような標準のピア・トゥ・ピアのハード、ソフトが完備されていない。ピア・トゥ・ピアは大きくわけて3社ある。
 - 6.TextManagerのWorldScriptIIのような2バイト圏へのサポートがされていない。そのため、日本語化には時間がかかる。ということは昔のVer6.xの頃のように新旧2つのシステムを使わないと動作するアプリケーションと動作しないアプリケーションが出るおそれがある。
 - 7.QuickDrawGXでは描画の仕方がかわり整数座標系から実数座標系に変わりMACは3x3mmの座標が作成でき、解像度が72DPI固定から可変DPI数になるがWindowsはそのまま。
 - 8.ColorSyncのようなカラー調整機能は考えられていない。
 - 9.3次元の標準フォーマットがサポートされない。
 - 10.肝心のWindowsNTがまた延期のよういつ発売になるかわからない。うわさではシステムだけで130M以上かかる膨大な2億ステップのOSのようです。
- 以上1回目の白石よりの報告です。

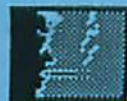
■DeskWriter3.1しかも日本語+グレイスケールドライバ

ニフティからHPが一般には出していない3.1英語版のドライバを日本語化しました。しかも初期値をUSレターではなくA4にし、B5もリソースに加えたものがあります。また、昨日ニフティのHPフォーラムでグレイ

スケールをいままでよりキレイに出力するためのパッチも入手しましたので、それもリソースに加えました。このリソースはパターンリソースのアミ部分を改良しています。ほしい方がありましたら連絡下さい。HPではだれに配布してもOKだといっています。グレイスケールパッチをしたドライバはDeskWriter3.1E、DeskWriter3.1J、DeskWriterC2.0E、DeskWriterC2.0J、DeskWriter550C1.0Jがあります。「ResEdit日本語化の鬼」白石でした。

■米アップル、株主より集団提訴!!

今日の朝日新聞に、米アップルが株主より集団提訴されている報道がのっていました。これは財務内容が悪いのに、1月や3月にスカリー会長やスピンドラー社長が株主向けに好調だとのウソの報告をしていて、また、アメリカの経営幹部がよく持つことができる株式オプションを悪用したとのことです。アメリカではパフォーマンスシリーズの売れ行きが悪く、安売りになっているのが要因のようです。そのほか、私が考えるには、新製品の出荷がすごく遅れるためキャンセルになり、ペナルティを払わされているのも原因だと思えます。あげくに、このごろの新製品ラッシュで旧製品が新古品になってしまい在庫が増え、結果安売りをしてしまうのも要因だと思えます。ただノート型の売れ行きは好調のようですし、日本市場での販売好調もあるので3カ月くらいしたら経営状況も変化するのではと期待しています。それにしてもアメリカの経営者は大変ですね。1年間の成績ではなく四半期ごとに株主からチョット悪いと文句を言われるとは。ここが日本と違いアメリカのいいところであり、悪いところですね。どうしてもアップルの場合は長期の投資を考えているのです。そういう面では日本の企業なわけです。それがアメリカの株主には理解されなくツライところだと思えます。Windowsとの差をつけるためにも早くQuickDrawGXとAOCEの発売に期待をしている白石でした。



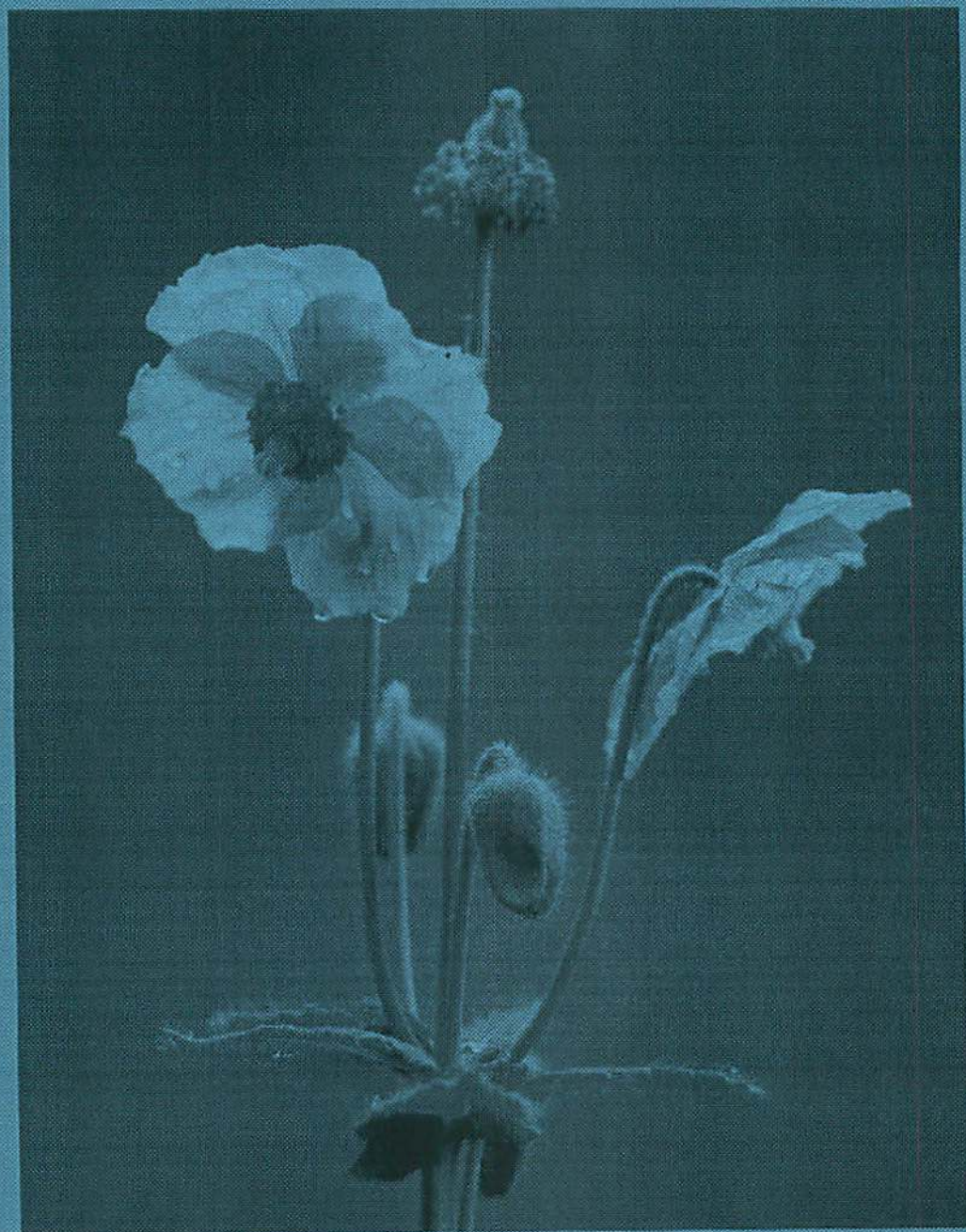
コバルトブルーの可愛らしい花が、荒涼とした山の中にポツンと咲いている写真を見て、実物のブルーポピーを見たいと思いました。しかし、それはヒマラヤの奥地で、ヤクに乗って3日かかると書いてあるのを見て諦めました。

その後、奥中山でブルーポピーを作っている青年がいるのを知って今年の5月、訪ねてみました。普通の農家



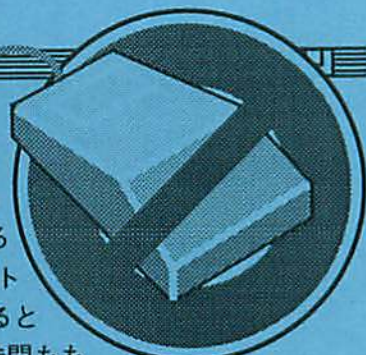
で、純朴そうで、難しいと言われているその花の栽培に成功したというのに、奢ることなく、親切に説明してくれました。東京のデパートに出した

が、温度が高かったので青くならずピンクになってしまったとのことで、温度管理が難しいようでした。2株ほどわけてもらい、我が家の庭に植えましたら、元気のいい一株が見事なコバルトブルーの花弁を披露してくれました。



余慶なお世話

フォルダを開く、アプリケーションを起動する、書類をコピーする、ウインドウを閉じる…。これらの操作は、普通の人にはマウス（PowerBookの人にはトラックボール）で行っているのではないのでしょうか？まあ当然といえば当然のことでしょう。ところが、デスクトップ機とPowerBookの両方を使っている人にとってはマウスとトラックボールの使い分けは結構面倒なものです（SE/30の横でDuoを使っているとマウスに手が伸びる…）。それに、操作に慣れてくるとマウスに手を伸ばす時間もどかしいもの。そんな訳で、今回の余慶なお世話は、マウスレスMac操作Tips集 その1—Finder編—です。



選ぶ

クリックの代わり

アイコン一つを選択するにもたくさんの方法があるものです。状況に応じて使い分けましょう。

矢印キーで選ぶ

キーボードの←→↑↓キーで選択できます。たとえば今選択されているアイコンの右にあるアイコンを選択する場合には「→」を押せばOK。



頭文字をタイプ

ファイル名が判っている場合にはこれが一番速い。たとえばファイル「ABC」を探したい。たいていのフォルダにはたくさんのファイルがあって「ABC」がどこにあるかなんて判らないもの（しかもウインドウをスクロールさせる必要があるかもしれない）。そんなときはキーボードで「A」をタイプしましょう。「A」で始まるファイルが選択され、勝手にスクロールして表示してくれます。勿論日本語でも問題なく選択できますが、ファイルの数が少ないときはタイプするよりマウスのほうが速いでしょう。



tabキーをタイプ

tabキーを押すとファイルをアルファベット順に選択することができます。頭文字のタイプと併用するとカンペキです（頭文字をタイプ→tabキーで選択）。



開く

ダブルクリックの代わり

まずはご存じ「command+O」。開けるものはこれで開き、動かすことのできるものは動きます（正しいタイプ方法は、command+左手親指、O→右手薬指）。



もう一つの方法は「command+↓」。これでも開いてしまいます。



フォルダに有効な操作

今開いているフォルダを含むフォルダを開く

例えば、コントロールパネルフォルダを開いていると、機能拡張フォルダもいぢりたくなるもの。システムがインストールされているハードディスクを開いてシステムフォルダを探してシステムフォルダを開いて機能拡張フォルダを探して機能拡張フォルダを開く…。面倒ですね。マウスを使うの

であれば「command+タイトルバーレス」で上位のフォルダに移動できますが、マウスを使うのは邪道ですので、別の方法を。「command+↑」で、親となるフォルダが開きます。



Finderの表示が名前/容量/種類/ラベル/日付のとき有効なTips

「command+→」で選択したフォルダの中をリスト表示できます。そして「command+←」でフォルダを閉じます。

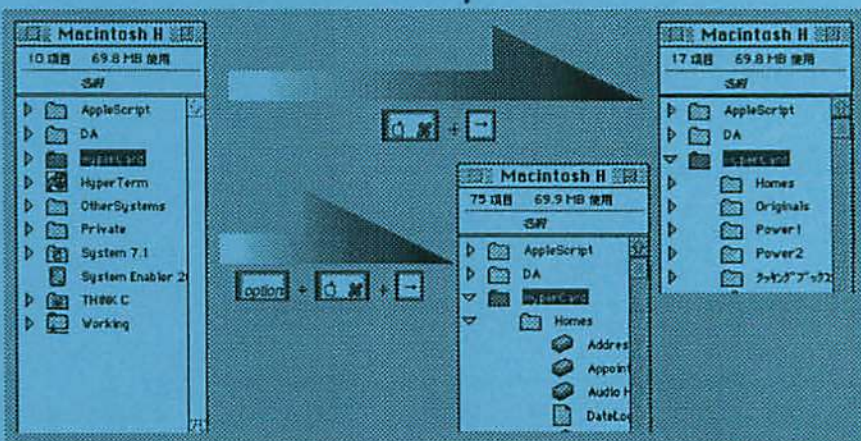


「option+command+→」でそのフォルダの中の全てのフォルダとファイルをリスト表示します。閉じるときは「option+command+←」です。



to be continued...

Written & Edited by S.Kudoh



おまけ：Mac起動時に「option+command+Q+T」を押しているとき、QuickTime 1.6.1の読み込み時に何かが起きます。

BEST BUY
BASIC



Future Basic

FutureBASIC combines the simplicity of BASIC with the power of "C"

by Akihito Tohyama

生まれ変わったBASIC

一昔前はパーソナルコンピュータの標準言語だったBASICも、CやPascalにおされてすっかり影を潜めてしまった。プログラムの構造化がしにくい、インタープリタでとんでもなく遅い、初心者用言語でたいしたことはできない等々、BASICに対する評価は手厳しかった。しかし、今日のBASICはCやPascalの良い点を吸収し、見違えるほどに進化している。ちょっとしたアプリケーションを作るのに、一からCやPascalを勉強するのは億劫、気軽に手早くマック風のアプリケーションを作りたいという方々に、未来のBASICをお勧めしたい。

FutureBASICとは

Zedcor社のFutureBASIC (以下FB)

は、同社のZBASICがバージョンアップして生まれ変わった製品だ。もともとZBASICは商業的クオリティのアプリケーションが作成可能なBASICコンパイラとして評判が高かった。FBはこのZBASICをSystem7対応としたうえに、数々の機能強化がなされ、より強力な未来のBASICとして生まれ変わっている。主な強化点を挙げると...

- ▶ CやPascalに匹敵し、HyperCardより100倍速いコードを生成する。
- ▶ 32bitアドレッシング、Apple Events、Balloon Help、Color QuickDraw、QuickTimeに対応。
- ▶ デバイスドライバ、INIT、cdev、XCMDのコンパイルが可能。
- ▶ ユーザ定義関数内でのローカル/グローバル変数の使用が可能。
- ▶ モジュールの分割コンパイルが可能。

- ▶ ソースプログラム内でのアセンブリ言語の直接使用が可能。
- ▶ オンラインヘルプ/リファレンス機能および強力なデバッガを装備。

まさに未来のBASICと呼ぶにふさわしい内容だ。さらに、Getting Started、Reference、Programmer's Handbookの3冊からなるマニュアルはたいへん読みやすく編集されているし、サンプルプログラムディスクには250を超えるプログラム例が納めされている。

FBの利点

進化したとはいえ元はBASIC、なんといってもとっつき易い。プログラムの簡単さでは他の言語を圧倒しているように思う。例えばPascalで150行

Editor window
予約語はボールドで表示されるし、ちゃんとインデントもしてくれる。当り前のようだけれどありがたい。ZBASICのEditorにはなかった機能。日本語の入力も問題ない。

Find and Replace dialog
ZBASICにはなかったReplaceが追加され便利になった。

Project window
FBではソースコード、グローバル変数ファイルプロジェクトとして一つのフォルダで管理する。ファイル名をクリックすると直接そのファイルが編集できる。

Functions window
使用している関数の一覧が表示される。クリックすると直ちにその関数に移動できる。関数のほかにラベル、変数、定数、の一覧表示も可能。長いプログラムのメンテに超便利。

```

QuickTime Player.INCL
QuickTime Player.MAIN

-----
Globals
DM1 gMovieBlock&
DM1 gProgramEnds
END GLOBALS

-----
Functions

LOCAL FN initialize
COORDINATE WINDOW
WINDOW OFF
gMovieBlock& = FN InitMovies 'INIT FB QT Windows
END FN

LOCAL FN doDialog
evnt = DIALOG(0)
id = DIALOG(evnt)
SELECT CASE evnt
CASE _VndClick
IF id THEN WINDOW id 'bring to front
CASE _VndClose
FN CloseMovie(gMovieBlock&,id) 'close box clicked
END SELECT
END FN

LOCAL FN doMenu
menuID = MENU(0)
itemID = MENU(1)
  
```


のプログラムと同じ内容のことがFBでは1行でできてしまうことだってある。イベント処理をはじめ多くのことをFBの方で面倒をみてくれるので手間が省けるし、Inside Macintoshを意識しなくてもそこそこのものが作れてしまう。まさにサンデープログラマにぴったりのありがたい言語だ。また、FBは他の言語に比べて値段が安い点も見逃せない。これだけの機能を備えていながら、299ドル、国内でも24,000円で手に入る。

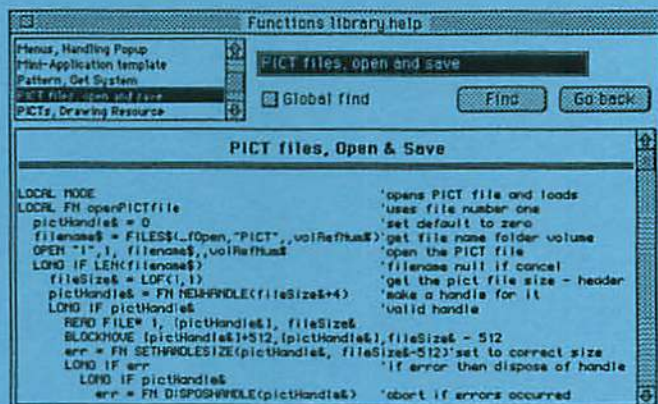
気になるVisualBASIC

最近、WINDOWSの世界ではMicrosoft社のVisualBASIC (以下VB) が大流行だ。次々と出版されるWINDOWS関連の雑誌には、必ずといっていいほどVBの入門コーナーがある。VBでは空のウインドウにボタン、リストボックス、スクロールバーを並べていだけでオリジナルのグラフィカルユーザーインターフェースが作れてしまう。このあたりはHyperCardとよく似ている。FBでも別売のプログラムジェネレータ(PG:PRO)を使えば同様のことができるが、VBの方が統合化されより扱いやすくなっているようだ。Microsoft社はマック用のBASICとしてQuickBASICを出しているが、しばらくメジャーアップデートは行われていない。Microsoft社はMacBASICを見捨ててしまったのか? マック版のVisualBASICがリリースされることを密かに期待しているのだが...

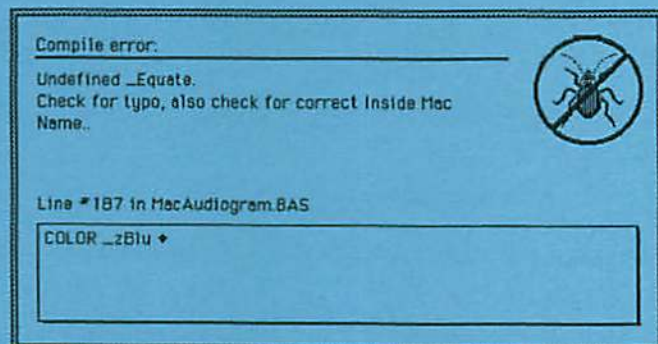
Written & Edited by



FBで作った聴力検査グラフを描画するアプリケーション。カラーで見せできないのが残念。Special Thanks. Doctor Satoh.



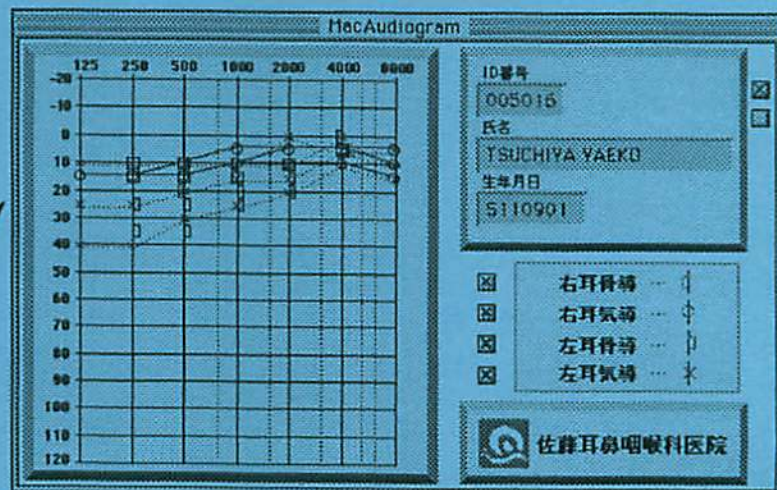
Functions library help 必要なライブラリをコピーし自分のプログラムにペーストすればOK!



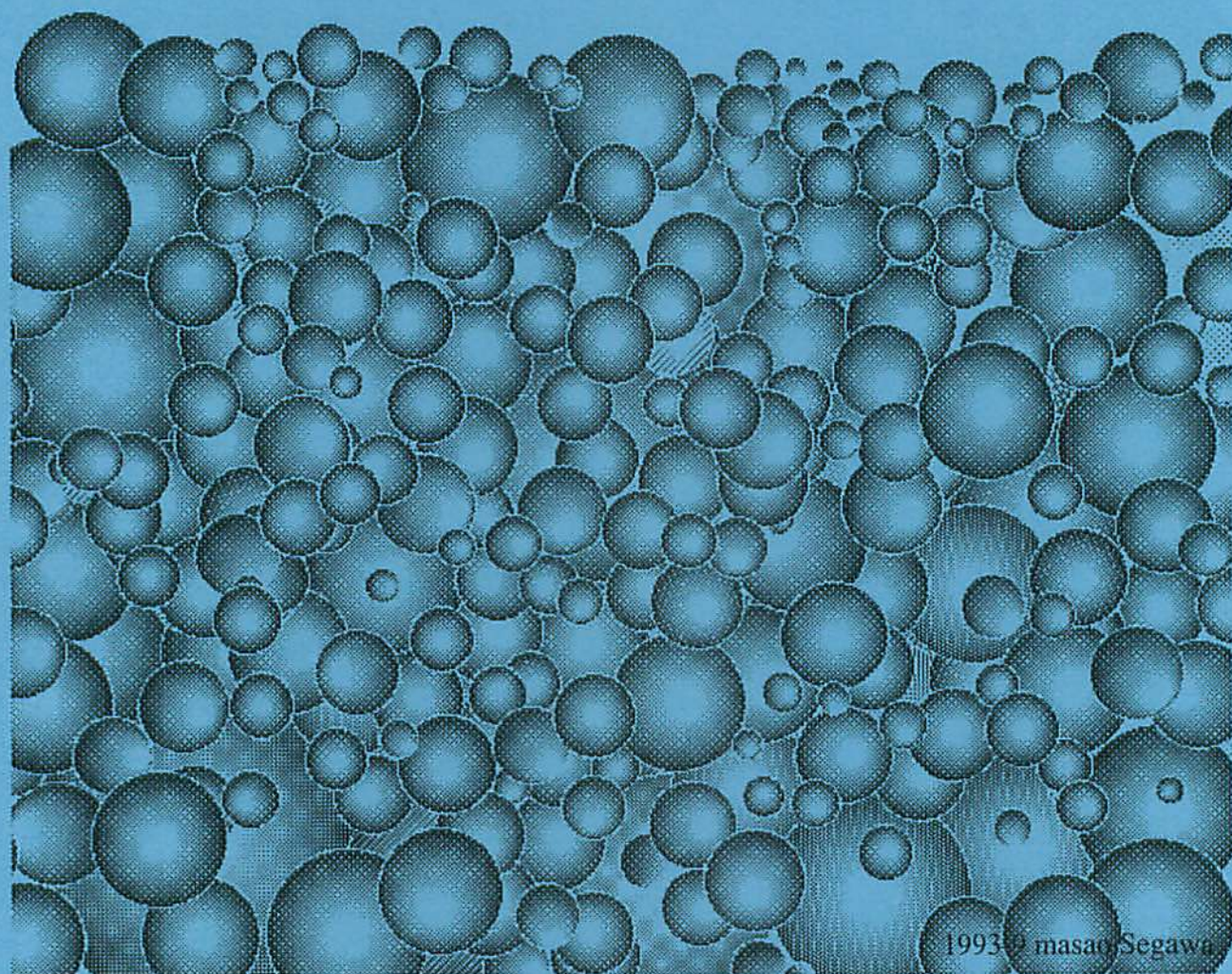
コンパイル実行中にエラーが発見されると表示されるメッセージ。マウスをクリックすればエラーの起きた行へ自動的に移動する。



サンプルディスクにあったQuickTimeプレイヤーをコンパイルして実行したところ。怪しいおばさん二人組。



林檎ギャラリー



by瀬川昌男

編集後記



『今回、始めて参加しました。詳しい説明のないままに始めた作業だったので一部無駄になった部分があったりしましたが、今後は諸先輩方の指導の下に続けて行きたいと思っています。』

土村 中



今年は雨にもめげず、山に行って花の写真の沢山撮ってきました。当分「山の花」のネタには事欠かないですが、肝心の「林檎」の将来が心配です。「林檎は永遠です」とは行かないまでも、もう少し、もう少しと言いながら発行を続けたいものです。

佐藤

おまけの続き。
256色（以上?）でない駄目だったりします。

工藤

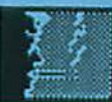


長かった梅雨のせいで、今夏の山行予定はさっぱり消化できていません。何としても今年中に裏岩手縦走路を踏破したいと思っています。 遠山



発行回数を減らすということで、のんびりしすぎて発行が遅れてしまいました。なおかつMMMの準備もできずじまいだったので、11月頃イベントを企画しようと思っています。乞うご期待!

野村



PB165というのが、145Bより70ドル高い程度で米国では発売されたようです。33MHzだそうですから180なんかと一緒にすよね。日本の価格が145Bより少し高いぐらいなら、やっと買えそうな機種が出た気がします。 佐々木（幸）

会員名簿

青山 真紀子	盛岡市	鈴木 裕之	盛岡市
浅田 昌稔	北上市	瀬川 昌男	盛岡市
浅沼 豊	盛岡市	関口 厚光	盛岡市
浅野 恵治	仙台市	平 靖夫	盛岡市
阿部 好晴	盛岡市	高島 浩一郎	盛岡市
石田 宏	盛岡市	高橋 晃	盛岡市
一井 誠	盛岡市	高橋 浩幸	盛岡市
伊藤 光司	花巻市	武元 伸次	盛岡市
井上 督	盛岡市	谷口 和美	盛岡市
祝田 明子	盛岡市	田村 真智子	盛岡市
沖野 寛	二戸市	Daryl Pitts	花巻市
小野寺 一郎	紫波町	千葉 浩保	盛岡市
桂川 茂彦	盛岡市	塚野 弘明	盛岡市
兼平 信一	盛岡市	土村 中	盛岡市
鎌田 五百枝	盛岡市	照井 芳夫	花巻市
神 達宏	盛岡市	遠山 明人	盛岡市
菅野 研一	宮古市	徳富 亘	花巻市
木村 栄子	盛岡市	苦米地 怜	八戸市
工藤 聡	滝沢村	豊間根 道子	盛岡市
工藤 利悦	盛岡市	永澤 幸雄	盛岡市
熊谷 朋也	盛岡市	長土居 正弘	盛岡市
小松 寿夫	北上市	西島 光茂	盛岡市
近藤 英一	紫波町	野村 行憲	盛岡市
斎藤 岳	盛岡市	藤澤 義栄	花巻市
斎藤 秀一	盛岡市	藤村 洋	盛岡市
佐々木 明宏	盛岡市	米谷 則美	宮城県 涌谷町
佐々木 幸司	盛岡市		
佐々木 健	岩泉町	三浦 利章	浄法寺町
佐々木 治男	矢巾町	三浦 吉範	盛岡市
佐々木 文雄	紫波町	宮 義裕	矢巾町
佐々木 光夫	大槌町	宮本 岩保	盛岡市
佐々木 吉則	盛岡市	村上 宏文	盛岡市
佐藤 顕	仙台市	村上 弘行	盛岡市
佐藤 雅子	盛岡市	村川 寿	拍市
佐藤 学	宮守村	本館 康司	花巻市
佐藤 護人	盛岡市	藪 敏裕	盛岡市
渋谷 芳三	盛岡市	山本 淳	盛岡市
白石 陸	盛岡市	横田 喜安	盛岡市
菅原 忠雄	花巻市	横手 登	盛岡市
杉村 栄一	盛岡市	吉田 新二	盛岡市
杉村 峰秀	花巻市	渡辺 浩志	能代市

例会案内

10月 16日(土)

14:00 開場

15:00 例会

17:30 解散

場所:

岩手大学

教育工学センター

例会案内

11月 20日(土)

14:00 開場

15:00 例会

17:30 解散

場所:

岩手大学

教育工学センター

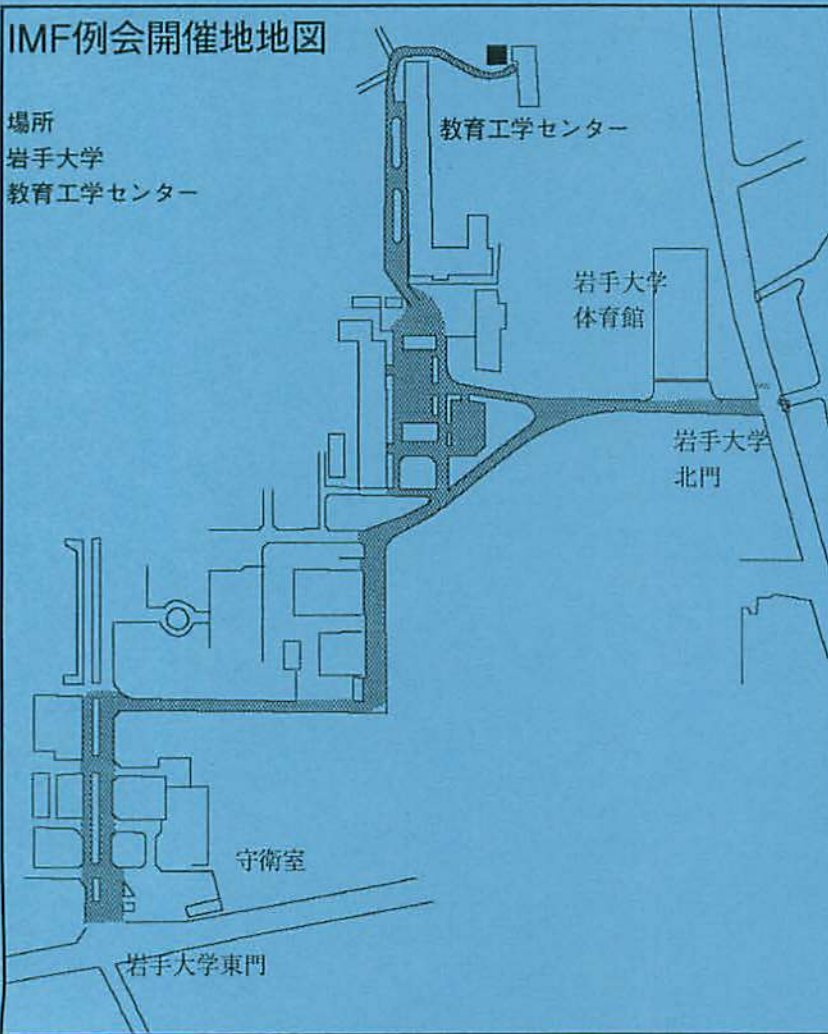


例会の後で、場所を変えて編集会議を行います。

お時間のある方
ご一緒しませんか?

IMF例会開催地地図

場所
岩手大学
教育工学センター



「林檎」27号は...

Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	MacDrawPro
Illustrator	MacPaint
MacVJE	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter
SuperPaint	クリスワークス

等で作ったものをPageMakerでまとめLaserWriter, Microlineでプリントしました。

「林檎」第27号 1993/9/18

編集長 高橋 晃

発行 岩手Mac友の会

代表者 野村行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品